

思春期保健相談士通信（第27号）

*本紙は思春期保健相談士の方と（一社）日本家族計画協会との情報交換と地域活動の活性化を目的に発行しております。

[illegible]

今年の2月に発表された最新データ

第8回男女の生活と意識に関する調査報告書

が発売されました！

性教育講座に！知識のアップデートとして！指導の際のエビデンスとして！
ぜひご活用ください☆

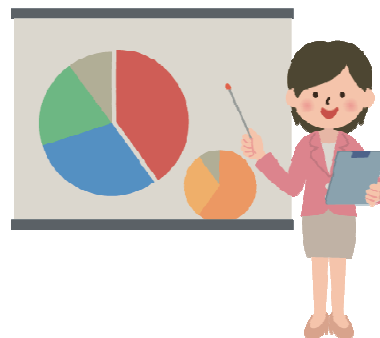
本調査は 2002 年から 2 年毎に実施しており、国民の性意識・性行動を知るわが国唯一の調査として国内外の専門家から高い評価を得ています。(調査対象者については、全国の 16 歳から 49 歳の男女 3, 000 人を対象として、層化二段無作為抽出法という調査手法を用い抽出しています。)

本調査の報告を少しでもご紹介いたします！

Q. 避妊方法の主な情報源とは？

- 1位 教師・学校の授業 (42.7%)
2位 友だち (20.3%)
3位 マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など) (12.8%)

尚、性別にみると、「教師・学校の授業」は男性より女性、「友だち」は女性より男性の方が多くなっています。



Q. 性に関することについて、一般的には何歳くらいの時に知るべきだと思いますか？（一部抜粋）

- ・男女の心と身体の違い
1位 10～12歳 (49.5%) 2位 6～9歳 (21.5%)
 - ・受精、妊娠、出産、誕生のしくみ
1位 13～15歳 (42.4%) 2位 10～12歳 (40.5%)
 - ・避妊法
1位 13～15歳 (50.4%) 2位 10～12歳 (21.5%)
 - ・妊娠、出産をするには年齢による限界があること
1位 13～15歳 (36.0%) 2位 16～18歳 (25.6%)

男女の心と身体の違いについては小学校高学年頃に妊娠・出産に関することや避妊方法等については中学生頃を知るべきだと思う方が最も多くなっています

いかがでしたか？本調査報告書には、これらの質問のほか、結婚や子育て、人工妊娠中絶、低用量ピルなど性意識・性行動に関する調査結果の詳しいデータを収録しています。また、第1回（2002年）～第7回（2014年）調査報告書の収載しております。

詳細は同封のチラシをご覧ください ※インターネットサイト amazon でもお買い求めいただけます。

思春期保健相談士がセミナーアシスタントとして活躍しました！

平成 28 年度の思春期保健セミナーが全て終了し、新たに 130 名の思春期保健相談士が仲間に加わりました！

また、2 名の思春期保健相談士の方にコースⅢでお手伝いいただきましたのでお二方のご感想を掲載します。

鶴田 朋子 さん

(千葉県・養護教諭)



「いつかできたらいいなあ」と思っていたコースアシスタント。思春期保健相談士の資格を取りカードの更新は重ねていたものの、スケジュールが合わず、上級コースを受講できずにいました。そしていつしか上級コースそのものがなくなり…。コースアシスタントは「上級思春期保健相談士」が必須条件。自分にはできないのかな、と諦めかけていたその時、「2 回以上更新」「カードが有効期限内」という新たな条件に合致し、この度、念願かなってコースアシスタントをさせていただくこととなりました。

前日から準備をし、開始時の受付、書籍の販売と、スムーズに受講できるようサポート業務をさせていただきました。アシスタントとはいえ、普段は同じ思春期の若者を支援する仲間。そんな受講生の方々と触れ合うこともでき、とても良い経験になりました。また、こうしてセミナーに関わることで、自分たちもアシスタントの方々に支えられてきたことを改めて知り、遡って感謝の気持ちでいっぱいになりました。

セミナー中、荒堀先生の講義に事例としても参加させていただきました。与えられたお題に対し、受験を控えた中学生、そして彼氏との恋愛真っ只中の女子高生に。中 3 の事例では、初めてひとりで行く婦人科外来に緊張していましたが、先生の言葉にぬくもりを感じ、演じてはいたものの、緊張がとれるのを感じました。言葉づかいや態度、醸し出す空気で相手の気持ちは決まるんだと、改めて思いました。

空き時間には、先生方の講義を受けることもできました。新しい情報を得たり、学びたい意欲をいっぱい刺激されました。先生方、そして事務局の方々は、セミナーをよりよくしようと考えてくださっています。その一生懸命な姿にも触れることができ、とても嬉しくなりました。

最後になりましたが、先生方、事務局の皆様、そして一緒にアシスタントをしてくださった山下さん、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

山下 明美 さん

(岡山県・CAP スペシャリスト)



平成 14 年にコースⅠ、Ⅱ、Ⅲを受講し、性の健康教育の基礎を学んでから、早 15 年。当時講師として私たちの前に立ち、筋道を示してくださった先生方の中には既に還らぬ人となられた先生方も多い。今回、先生方から「資格取得はいつ？」と聞かれ、当時の思い出が蘇った。人の尊厳としてのセクシャリティをどう捉えるか、人としてどう向き合うか、たくさんの大切な宝物をいただいていたことに改めて感謝を感じ、そのことを大切に過ごしてこれたことをうれしく思った。

そして、今回、新しい風を送り込み、とても新鮮で魅力的な学びを授けてくださる先生方のお手伝いの合い間、私自身も多くの学びを得ることができた。「目の前にいる思春期の人の話を聴き、その人がどうしたいのかに寄り添っていく姿勢を大切にする！」ということ、どの先生もが伝えてくださる。「支援をする人は、当事者の声を聴くということを何よりも大切にしていく」という原点を外さない 3 日間。自分自身の立ち位置をしっかりと見つめ直し、活動や仕事の根っこを確認する大切な時間となった。

また、全国から学びに来られた様々な職種の方に出会い、語り合い、新たな情報とつながりを作れることもこのセミナーならではの！書籍販売や食事中に、お声掛けいただき情報交換をすることもある。その時間がとても楽しく、貴重。全国にこんなにも熱い思いで思春期の人に関わろうとしている人がいることを感じられ、とても勇気づけられた。それは、参加者のすべての皆さんが感じられたことだろう。

コースⅢのお手伝いをさせていただくのは今回 2 度目。今回、思いがけず、お声掛けいただき、喜んで出かけた。「さあ、私も岡手で、頑張っていこう！」と力をもらって帰宅した。コース前日の夕方、打合せの時を待つ間、部屋から見えた富士山が、成田での幸先の良い今年のスタートを見守ってくれているように見えた。それぞれの土地で頑張ろう！！



思春期保健セミナーのここが変わりました！

平成28年度より、時代に即応した内容のプログラムへと一新いたしました。既に思春期保健相談士となっておられる方々も、ブラッシュアップ・セミナーとしてご受講されることを期待しております。

※詳細・お申し込みは同封の冊子をご覧ください

《コースⅠ》



新たに「思春期と法律」が加わり、弁護士より法律問題を抱えた時の対処法や思春期と関わりを持つ指導者として知っておくべき法律についてわかりやすく解説いたします。あまり学ぶ機会がない指導者の皆さまにとっては目からウロコです。

《コースⅡ》



電話やメールを使ったメディア相談での課題、思春期の自殺問題、いじめや不登校の現状、デートDVやSNSによる犯罪被害への対策、そしてLGBTへの理解と対応など、まさに現代の思春期問題への対応に直結した講義が盛りだくさんとなっております。

具体的な内容が学べますので、対応に困難を感じている方はぜひ受講いただき、今後の指導にお役立てください。

《コースⅢ》



今年度は東京の市ヶ谷で開催いたします。日帰りが可能なプログラムとなりましたので、今一度ブラッシュアップとしてご参加ください！

★随時募集中★ あなたの“あったらいいな！”をおしえてください☆

相談士の皆さまが日ごろの活動・業務で、困っていることや、
気になっていること、最新の情報を得たいこと…などはありませんか？

こんなセミナーを開催してほしい！ こんな指導ツールがほしい！
そんな皆さまのご意見を、JFPAでは随時募集をしております。
お気軽にご連絡ください♪

<例>

- ・学校での性教育講座の行い方を学びたい…
- ・思春期の子ども“SNS”トラブルが多くて困っている
- ・朝食を食べない学生へその大切さを伝える“リーフレット”がほしい などなど

<<応募方法>>

- ①最近の活動で困っていること、悩んでいることをおしえてください
- ②そのために、どのようなことをセミナーで学びたいですか？
また、どのような指導用ツールがあればいいと思いますか？

上記について記載の上、氏名、連絡先を明記し

①FAX (03-3267-2658)

②メール (jfpa-semi@jfpa.or.jp)

③郵送 〒1162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

のいずれかで、お送りください☆ (人々)



平成 29 年度 「思春期保健相談士認定カード」 更新対象セミナー 一覧

※詳細は、同封のセミナー案内冊子またはHPをご覧ください

セミナー名	カウント	内容	開催日	開催地
第78～80回思春期保健セミナー コースⅠ（総論編）	2	思春期の心理や生理、性教育の最新情報や現状を踏まえて、基礎知識を学ぶ「思春期保健相談士」の資格認定に向けての第1段階	9月16日（土）～18日（月） ※大阪・福岡会場は中継での開催	東京 大阪 福岡
第56回思春期保健セミナー コースⅡ（各論編）	2	思春期の問題についてを各論的に学ぶ実践に向けての基盤作り	11月17日（金）～19日（日）	東京
第64回思春期保健セミナー コースⅢ（実践編）	2	少人数に分かれ、グループ実習にてカウンセリング技術など学ぶ	平成30年1月6日（土）～8日（月）	東京
第139～146回指導者のための 避妊と性感染症予防セミナー（SRHセミナー）	1	《H29年度のテーマ》 性の健康教育の実践～伝える技術を磨く～ 避妊や性感染症予防をテーマに、養護教諭や保健師などが現場で実践できるような知識を学ぶ	6月17日（土）	仙台
			7月8日（土）	新潟
			9月3日（日）	神奈川
			9月30日（土）	札幌
			11月25日（土）	大阪
			12月2日（土）	名古屋
			12月16日（土）	福岡
			1月20日（土）	東京
第12回生きるための心の教育セミナー（ベーシック編）	1	思春期に関わる指導者へ思春期保健の最新情報や教材を活用した指導のポイントなどを学ぶ	7月22日（土）	東京
第13・14回生きるための心の教育セミナー（スキルアップ編）	1	性教育指導者のスキルアップとして、実際に出前講座や出張講演などで活かせる知恵や工夫することなどを学ぶ	10月21日（土）	東京
			平成30年2月3日（土）	東京
第9回思春期保健ミニ講座	1	テーマ 思春期の「生き抜く力」を高める	6月18日（日）	東京
第1回性の多様性を学ぶセミナー	1	テーマ LGBTの若者の理解と教育現場での支援のあり方	7月1日（土）	東京
第13回「ピアカウンセラー養成者」養成セミナー（前期・後期）	1	ピアカウンセラーを養成する者を養成	前期 7月7日（金）～9日（日） 後期 11月11日（土）～12日（日）	東京
第18回思春期ピアカウンセリング・コーディネーター養成セミナー	1	「思春期ピアカウンセリング講座」立ち上げの調整役（スーパーバイザー）を養成する	9月2日（土）～3日（日）	東京
第102回受胎調節実地指導員認定講習会	1	母体保護法第15条に基づき、修了者は申請により国家資格「 受胎調節実地指導員 」が取得できる	7月24日（月）～28日（金）	東京
第19回 自己効力感を高め主体的な行動変容を支える健康支援実践セミナー	1	エンカウンター技法を取り入れた実習形式の講義により健康教育プログラムの理論と実践方法を学ぶ	12月2日（土）～3日（日）	東京

※都合により開催を中止または、受講料・内容等が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※認定カード発行日から2年以内に「思春期保健相談士認定カード」更新対象セミナーを2つ以上受講した方は、カード更新の手続き（申請）をしてください。



WEB会員登録はお済みですか？

WEB会員登録をするとさらに便利！ぜひこの機会にご登録ください♪

セミナー申込の手間が少なくなって
サクッと申し込み完了！

受付、受講決定の通知が
メールで届く！

受講申込の履歴や現在の
状況がわかる！



詳細は本会HPをチェック！ <http://www.jfpa.or.jp/>

思春期保健相談士通信（第28号）の発行は
10月を予定しております！



※住所などに変更があった場合は、お手数ですが変更届にてお知らせください。

※WEB会員登録済の方は、「マイページ」よりご変更いただけます。

● お問合せはこちら ●

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館
一般社団法人 日本家族計画協会 研修課
(HP) <http://www.jfpa.or.jp/>
電話 03-3269-4785（平日 9 時～17 時）
Fax 03-3267-2658（24 時間対応）